

南山学園中期計画ならびに事業計画・事業報告（2025年度）

2 個別計画

《2-3 南山高等・中学校（女子部）》

南山学園中期計画			マイルストーン					2025年度			
大項目	小項目	具体的な達成時期・達成指標等	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	事業計画	事業報告	事業計画評価 (:1)	中期計画評価 (:1)
(1)学校としての戦略	(1)-1 「人間の尊厳のために」という建学の精神についての共通理解をはかる	(1)-1-1 学校行事や特別活動、総合的な学習(探究)の時間などの活動を、建学の精神を念頭に置きつつ随時見直しを図っていく。とりわけコミュニケーション・スキルを磨くための活動に重きを置く。	年度毎に検証を行いつつ内容を策定・実施					スクール・ミッションの周知を図る。			
	(1)-2 男女別学のミッションスクールとしての魅力を活かしていく	(1)-2-1 女子校で教育を受けることのメリットと、確固たる価値観（キリスト教的人間観）を持っているからこそ多様性に対して柔軟な思考で応えていけることを、在校生や保護者の生の声を活かすなどして広報活動を行う。	→ 女子校の魅力を伝える女子校イベントの開催					東海地区(愛知・岐阜・三重)私立女子中学校COLLECTION(第2回)を開催する。			
	(1)-3 6ヵ年一貫にとどまらない視点	(1)-3-1 中高の分断のない完全6ヵ年一貫の伝統を活かしつつ女子部独自のスタイルをつくりあげていく。同時に、南山大学附属小学校や南山大学・大学院、系列校との連携・交流等についても、新規の取り組みを検討する。	→ 南山大学附属小学校との連携・交流を重点に検討					南山大学附属小学校の教職員および児童との交流等について検討・協議を図る。			
(2)教育・研究	(2)-1 宗教性の涵養	(2)-1-1 異なる立場の人々とともに生きていくことができるよう、生徒の宗教性を養うことをめざし、これまで行ってきた宗教教育のあり方やプログラムの内容を再検討し、実施する。	年度毎に検証を行いつつ内容を策定・実施					静修会(中1・中2)とクリスマス修養会(中1希望者)のあり方について再検討を行う。			
	(2)-2 カリキュラムおよび教育支援の整備	(2)-2-1 新カリキュラムがスタートし、2024年度に高校の年次進行が完了する。2025年度以降は教科毎に内容を検証しつつ見直しを図っていく。	年度毎に検証を行いつつ内容を策定・実施				→ 新カリキュラムの検討	共通テスト等新課程入試の分析を行い、必要な大学入試対策を講じる。			
		(2)-2-2 次期教育課程改定に向け情報収集および検討を進める。	→ 中央教育審議会等の動き情報収集	→ 中央教育審議会等の動き情報収集	→ 中央教育審議会等の動き情報収集	→ 新カリキュラムの検討	→ 新カリキュラムの検討	中央教育審議会等の動きについて情報収集を図るとともに、現行カリキュラムについて検証を行う。			
		(2)-2-3 多様化する生徒の実態に合わせた教育相談・教育支援の体制について検討し、整備していく。	年度毎に検証を行いつつ内容を策定・実施					「合理的配慮」を求められるシーンが増える傾向にあることから、その中身について学校としてできることを具体的に見極めていく。			
	(2)-3 国際性の涵養	(2)-3-1 海外の学校との姉妹校提携や交換留学制度について準備委員会を立ち上げ検討を開始したことを受け、「国際性の涵養」に資する国際交流プログラム策定・実施する。	→ 提携交渉開始	→ 姉妹校提携を結び、交流事業開始				オーストラリア(メルボルン)の公立女子校との交換留学プログラム(第1回)を実施する。			
(3)施設・設備	(3)-1 新体育館建設	(3)-1-1 第1体育館の老朽化に伴い、当初は建替えを検討したが、現行の建築基準では同規模・同敷地への建替えは困難であることが明らかとなった。2034年の新体育館建設に向けて学園内関係各所と協議し用地を取得するとともに、第2号基本金の組入を行い建築資金を準備していく。	→ 第2号基本金2,500万円組入	→ 第2号基本金3,000万円組入	→ 第2号基本金3,000万円組入	→ 第2号基本金3,000万円組入	→ 第2号基本金3,000万円組入	新体育館建設に向けて、用地の取得交渉を行うとともに、資金調達のための特別寄附金募集計画について関係支援団体(育友会・常盤会・友の会)との協議を行う。			
	(3)-2 ICT環境の拡充・更新・活用	(3)-2-1 構内の主教室には電子黒板機能付大型提示装置が常設され、Wi-Fi環境もある程度整備されたが、拡充・更新を行っていく必要がある。BYAD(Bring Your Assigned Device)方式による一人一台端末環境を活用した学習活動および課外活動にはまだまだ課題があり、同時に教員のスキルアップも図っていく。また、ストレスなくICT環境を活用できるよう、専門のスタッフ(ICT支援員)の常駐化も検討していく。	→ 更新内容・時期等検討					普通教室プロジェクター(10台)・教職員貸与タブレット端末(67台)の更新、およびPC教室2のPC(43台)・サーバ等のリプレイスを行う。			
(4)社会・地域貢献	(4)-1 ボランティア意識の育成	(4)-1 年に2回実施している地域清掃とクリスマス献金等の寄附活動を継続していくが、新規の全学的な活動についても検討していく。同時に、学年やクラス単位、部活動レベルでボランティア活動等への参加意欲が高められるよう、啓発活動を行っていく。	年度毎に検証を行いつつ内容を策定・実施					ボランティアに関する啓発活動(外部からの募集を含む)を随時行う。			

南山学園中期計画ならびに事業計画・事業報告（2025年度）

2 個別計画

《2-3 南山高等・中学校（女子部）》

南山学園中期計画			マイルストーン					2025年度			
大項目	小項目	具体的な達成時期・達成指標等	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	事業計画	事業報告	事業計画評価 (:1)	中期計画評価 (:1)
(5)財政計画	(5)-1 寄附金募集の拡大	(5)-1-1 2020年度から一般寄附金の募集を開始したが、理解・周知には至っていない。新体育館建築に向けた寄附金募集など特別寄附金の募集についても検討する。	→ 一般寄附金募集	→ 一般寄附金募集	→ 一般寄附金募集	→ 一般寄附金募集・特別寄附金募集検討	→ 一般寄附金募集・特別寄附金募集開始	常盤会(同窓会)会報誌に一般寄附金募集の案内を掲載する等、周知を図る。			
	(5)-2 各種実習費や補習費等の値上げ検討	(5)-2-1 2023年度より年次進行で学納金の月額3,000円の値上げを行ったが、昨今の物価上昇等に一部吸収され、大きな改善に至っていない。各種実習費や補習費、証明書発行手数料等の値上げについて検討する。	→ 実習費、補習費の検討	→ 実習費、補習費の検討	→ 学納金改定の検討	→ 学納金改定の検討	→ 学納金改定の検討	実習費や補習費、証明書発行手数料等の値上げを検討する。			
(6)組織運営と人材育成	(6)-1 働き方改革の具体化	(6)-1-1 2020年度から勤怠管理システムを導入し、客観的な労働状況の把握を行っているが、多忙感・負担感を持つ教職員は少なくない。教職員の話を聞きながら校務分掌等の見直しを図っていく。外部人材の活用、人員増についても検討する。	→ 部活動手当の支給開始					平日の部活動指導等課外活動に対する手当の支給実現に向けて育友会と協議する。			
		(6)-2-1 部活動のあり方が大きく変わろうとしているが、私学ならではの魅力をアピールする重要な課外活動の一つでもあることから、現状の見直し（部活動数の縮減）を図りつつも、必要と認めるものについては持続可能な体制づくりをめざす。	→ 教員、生徒・保護者からの意見聴取					水泳部とソフトボール部の廃部手続きを行うとともに、引き続き部活動の維持・縮減について検討する。			
	(6)-2 部活動のあり方・体制についての見直し	(6)-2-2 校外で行われる大会等への引率が可能となる「部活動指導員」等外部人材の活用を制度化するなどして対応し、教員との協働で生徒たちの活動を可能な限り保証していく体制をつくる。	→ 教員、生徒・保護者からの意見聴取					「部活動指導員」等外部人材の活用について、教員、生徒・保護者の意見を聞きながら制度設計に取りかかる。			
		(6)-2-3 「部活動指導員」の制度化を検討する。財源については、部活動担当教員への手当を含め、育友会と連携・協力して持続可能な仕組みを作っていくことをめざす。	→ 教員、生徒・保護者からの意見聴取					財源については、受益者負担の原則に従って育友会と協議しながら進める。			

*1) 評価欄は、○（完了・緑）、△（進行中・黄）、×（未取組・赤）、-（実施対象年度以前・白）で評価する。
進捗を把握するため○（1点）、△（0.5点）、×(0点)、-（0点）で算出する。